

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス 長府教室		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 31日		～ R7年 12月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R7年 11月 4日		～ R7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実 ・机上活動や運動、リトミック、外出などを通して、それぞれの活動に“目的”を持たせ、子どもが楽しみながら学べる環境を大切にしています。 ・安全確保をしたうえで、できる限り子どもたちが様々な経験ができるよう季節に合わせた行事”を開催しています。 ・将来の困りごとが少しでも軽減するよう、“専門的支援実施計画”を作成したうえで一人ひとりの子どもに合わせた個別や小集団の支援を実施しています。	・子どもたちが様々な活動を経験したうえで、好きなことや得意なことを見つけてほしいと考えています。そのうえで事業所が“自分らしく”安心して過ごせる場所であるよう、職員一同子どもたちに向かって支援にあたっています。 ・専門的支援の実施は、“将来を見据えた支援”となるよう困りごとをご家庭と共有しながら、個々にあわせた課題を用意しています。 ・〇×クイズ、お店屋さんごっこ、ロールプレイなど楽しい活動を通して集団生活に必要なスキルを身に付けられるよう支援しています。	・活動内容について定期的振り返りを行い、子どもの興味関心や発達段階に応じたプログラムの見直しを行っています。今後も職員間での意見交換や研修を通して、より充実した活動内容の提供に努めてまいります。
2	環境 ・死角の少ない広々としたスペースがあり、個々の取り組みに集中しやすい個室の環境も完備されています。 ・近隣に100円ショップやスーパーがあり、希望する子どもたちが買い物の経験ができます。 ・保育経験豊富なスタッフが在籍しているため、子どもの発達状況に応じて細やかな対応をしています。	・室内は、視覚をできる限り減らす配置とし、職員が常に全体を見守れる体制を整えています。広々とした空間を確保することで事故防止に努めるとともに必要に応じて個室を活用し、落ち着いて過ごせる環境づくりを行っています。 ・近隣の100円ショップやスーパーを地域資源として活用し、職員の補助のもと買い物体験を実施しています。予算内での購入やレジでのやり取りなどを体験することで、日常に必要な力の育成を意識しています。	・事故防止の観点から、職員間で環境に関する気づきを共有し、改善につなげていきます。必要に応じて配置や導線の見直しを行い、より安全な環境整備を進めています。
3	連携 ・下関市に同法人で3教室を運営しているため、“合同イベント”の開催や、事例検討、研修や委員会など事業所内に留まらず、幅広い連携を行っています。 ・保護者の方や相談支援専門員の方と細やかな情報共有を行い、子どもの生活全体を見据えた連続性のある支援体制を心がけています。	・法人内3事業所が定期的に会議や委員会活動を実施し、支援内容の共有と標準化を図っています。3事業所で課題の抽出や改善策の検討を行い、組織的な支援体制を構築しています。 ・保護者、相談支援専門員と密に連絡を取り合い、必要に応じて関係機関とも情報共有をしています。家庭・学校・事業所が同じ方向性で支援できるよう調整し、生活全体を見据えた支援を行っています。	・同法人運営の3事業所の強みを活かし、実践事例を積極的に共有し、より多角的な視点から支援を検討できる体制を強化していきます。また、連携の成果を具体的な支援内容に反映させ、子ども一人ひとりの支援の充実につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族が参加可能なイベントが年間を通じて3回ほどしか開催していないため、利用日数が少ないご家庭は参加可能な機会が少なかったところが反省点です。	・家族が参加できるイベントが年間3回と限られているため、利用日数が少ないご家庭においては参加の機会が十分に確保されていない状況が生じております。特に、平日の利用が不定期なご家庭や、土日・長期休暇のみ利用されるご家庭では、日程が合わず参加が難しいケースが見られました。また、イベント日程の提示が早期に行っていなかったことや、複数日程の設定ができていなかったことも、参加機会の偏りにつながる要因であると考えております。	・年間のイベント回数や開催時期を見直し、ご家庭の利用状況に応じて参加しやすい機会を増やしていく必要があると考えております。具体的には、同一内容のイベントを複数日程で実施することや、短時間で参加できるミニイベントの追加を今後検討します。また、年間計画を早期に提示し、ご家庭が予定を調整しやすいよう情報提供を強化いたします。さらに、ご家庭からの希望やご意見を定期的に収集し、参加しやすい環境づくりに反映させることで、より公平で参加しやすい機会の確保につなげてまいります。
2	・事業所主催の研修(家族支援)を行っておらず、家族支援の機会が面談や文書配布等に限られていました。	事業所主催の家族支援に関する研修を実施していなかったため、家族支援の機会が面談等に限られている状況が生じておりました。面談は個別支援として有効である一方で、家族全体の理解促進や家庭での支援力向上につながる学びの機会が十分に提供できていなかったことが課題であると考えています。また、家族支援に関する情報提供の方法が限定的であったことも、支援の幅を広げられなかった要因と捉えています。	家族支援の充実を図るため、事業所主催の研修や勉強会を定期的で開催し、家庭で活用できる知識や支援方法を共有する機会を増やすことを検討していきます。具体的には、発達特性への理解、家庭での関わり方、困りごとへの対処法など、保護者のニーズに応じたテーマ設定を行います。また、参加しやすいオンライン形式の導入や資料配布など、多様な参加方法を整備いたします。さらに、面談以外にも日常的に情報提供ができる仕組みを整え、家庭と事業所が連携しやすい環境づくりを進めてまいります。
3	・放課後児童クラブや児童館との交流はしておらず、地域の他の子どもと活動する機会が事業所イベントへの招待のみと少なかったため、改善が必要だと考えます。	これまで、放課後児童クラブや児童館に限らず、地域の子もたちと交流できる機会を十分に設けられておらず、事業所イベントに招待する場面が主な交流の機会になっていました。そのため、日常的に地域の子もたちと一緒に遊んだり活動したりする経験が少なく、自然な関わりを広げにくい状況であったと考えています。また、地域のさまざまな団体や子どもが集まる場とのつながりを積極的に探し、連携を進める取り組みが十分にできていなかったことも、交流機会が限られていた要因と捉えています。	地域の子もたちとの関わりをより豊かにするため、放課後児童クラブや児童館に限らず、地域で子どもが集まるさまざまな場とつながりを持ち、交流の機会を広げていきたいと考えています。例えば、地域の子もたちや自治会の行事、公園での合同遊び、地域ボランティア団体との活動など、参加しやすい形で交流を検討していきます。また、事業所からも積極的に情報収集や働きかけを行い、協力しやすい関係づくりを進めることで、子どもたちが自然な形で地域とつながれる環境を整えていきます。